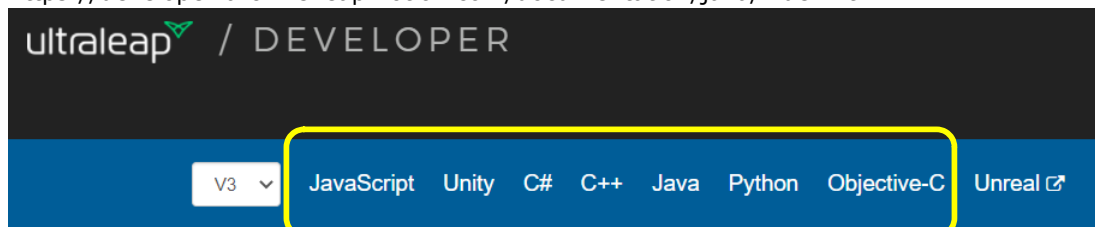


## ■ Processingの入手

ここでは、Processing(プロセッシング)を利用してLeapMotionを動かします。  
Processingは、ビジュアルデザインのためにつくられたプログラミング言語、または統合開発環境のことです。

電子スケッチブックの基盤としても利用でき、コードはプログラミング初心者向けに設計されています。  
オブジェクト思考のJavaを単純化して、かつグラフィック機能に特化した言語です。

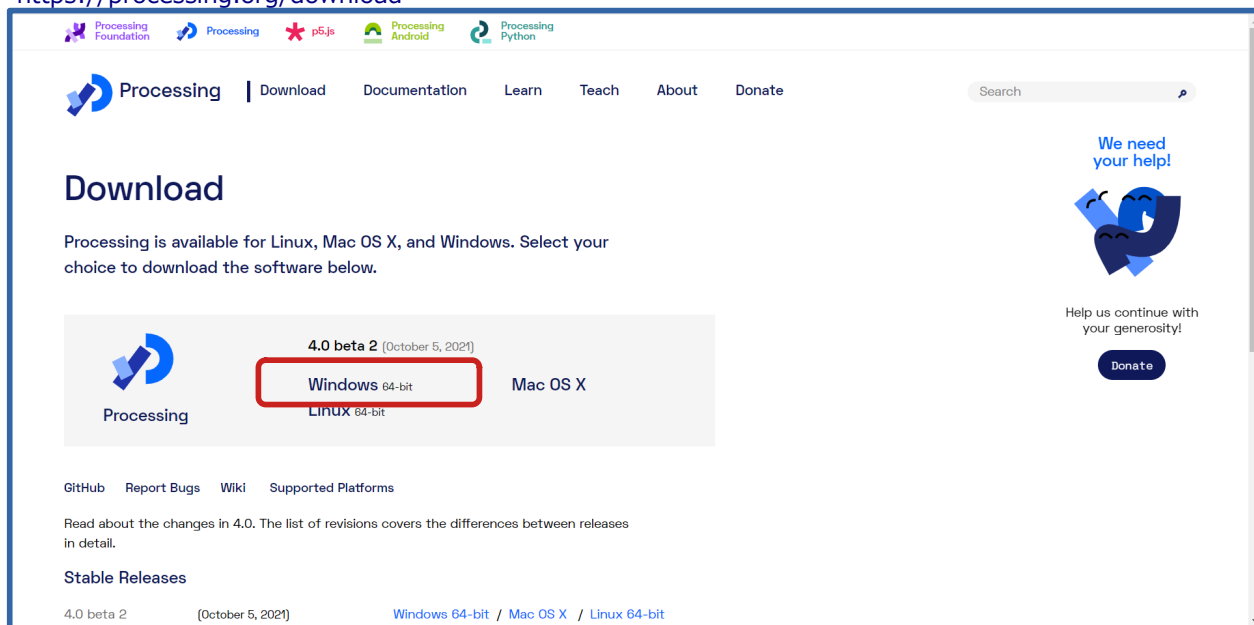
下記のデベロッパーページに、LeapMotionを制御できる言語が、まとめられています。  
<https://developer-archive.leapmotion.com/documentation/java/index.html>



Javaや、Unity、C#、JavaScript、Python、Object-Cなど、様々な言語で動かせます。  
今後は、どの言語をつかって開発するか検討する場面がでてきます。どんな言語がどういう特徴をもっているのか、また、それぞれの学習コストも興味して、探りましょう。

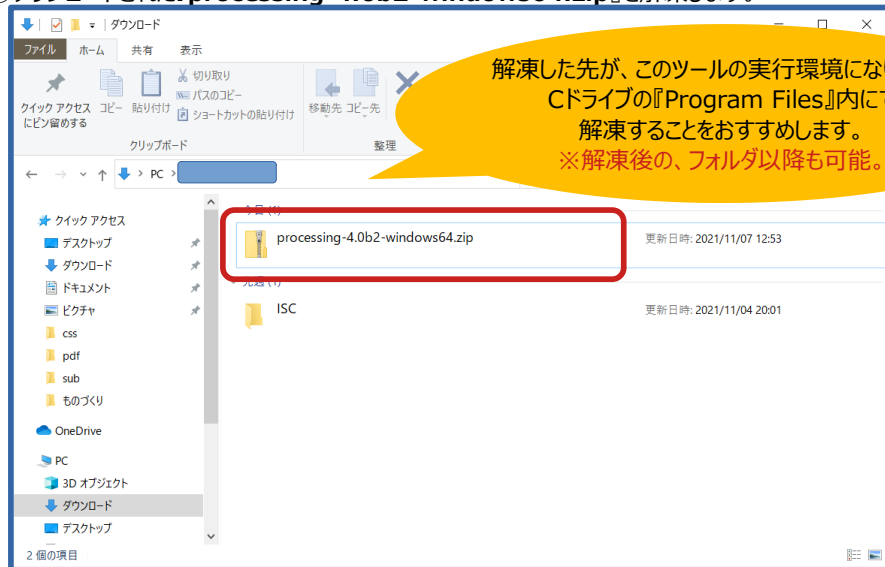
①次のサイトから、Processingの開発ツールをダウンロードします。

<https://processing.org/download>

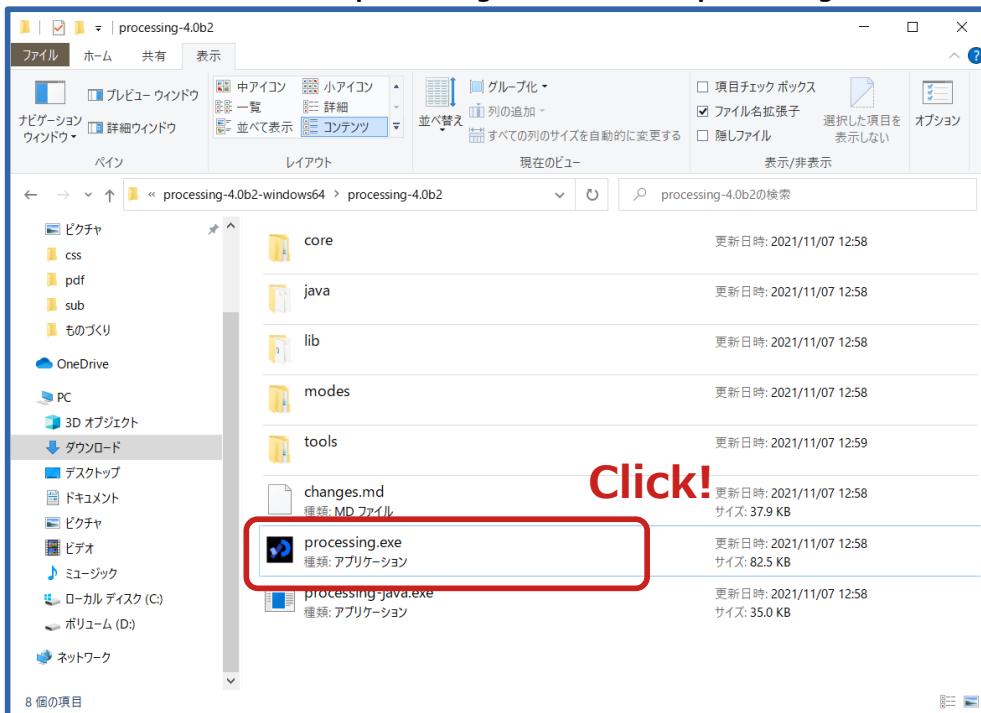


※ここでは、『Windows 64bit』環境を選択します。

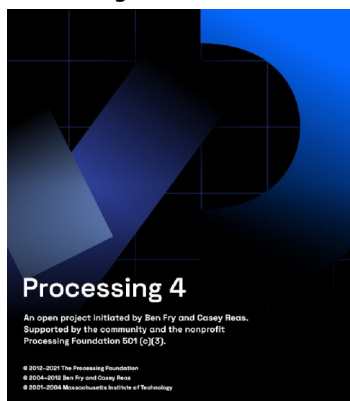
②ダウンロードされた『processing-4.0b2-windows64.zip』を解凍します。



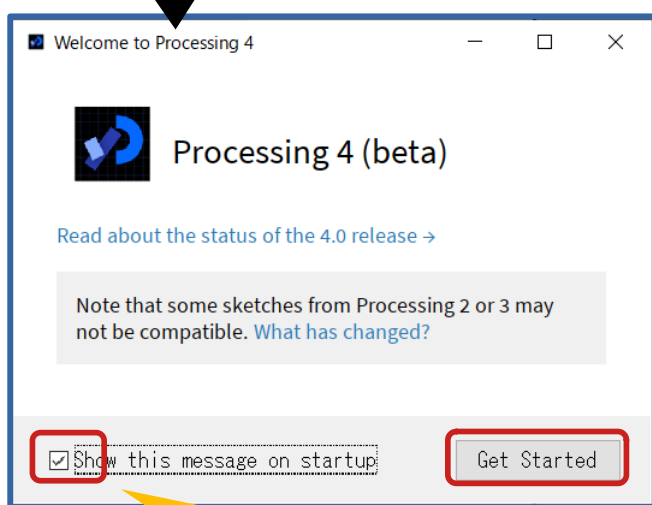
③エクスプローラにて、解凍したフォルダ『processing-4.0b2』内にある、『processing.exe』を実行します。



④Processingツールが起動したら、完了です。

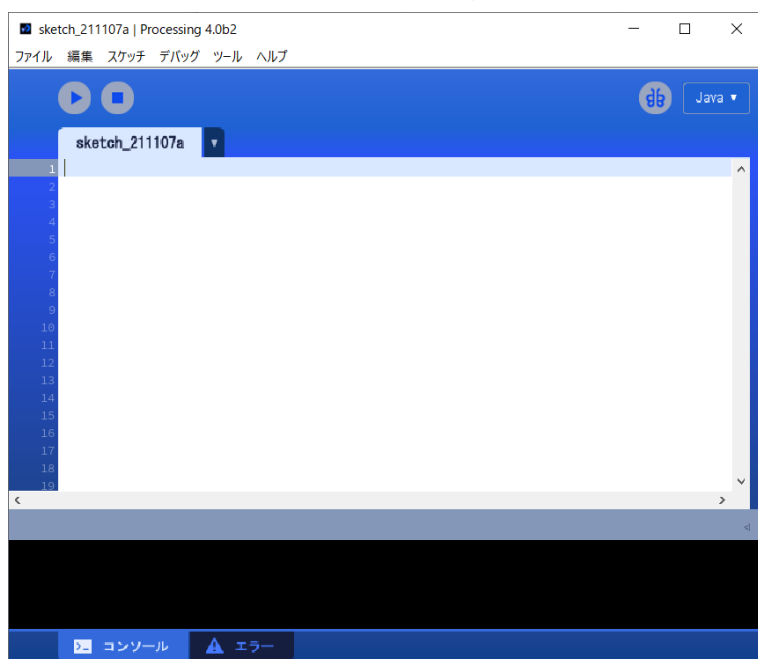


数秒のオープニングの後...



ウェルカム画面と、

このチェックを外して、  
『Get Startde』をクリックしたら  
次から表示されない。



起動画面が表示される。